

◎ 評価の項目・内容・基準について

・ 舗装修繕

(1) 維持修繕補修の必要性の判定

舗装の破損状況を3段階で評価する

区分	評価項目	内容・基準
1	破壊状態で危険	舗装構造破損、クラックの頻度多し
2	機能障害がある	部分的なクラック、道路勾配（横断・縦断）の不良による水溜り
3	利用に不便がある	埋設物による復旧跡多し、わだち掘れ、同一路線での補修跡多し

評価区分の内容・基準例

区分1（舗装構造破損、クラックの頻度多し）



区分2（部分的なクラック、道路勾配（横断・縦断）の不良による水溜り）



区分3（埋設物による復旧跡多し、わだち掘れ、同一路線での補修跡多し）



(2) 道路の利用状況の判定

道路の利用状況を4段階で評価する

区分	評価項目	内容・基準
1	幹線道路	広域連結道路（通過車両が多い）
2	歩行者等の多い道路	通学路等で歩行者・通勤通学者が多い
3	準幹線道路	地区間連結道路
4	生活道路	地区内道路（通過車両が少ない）

(3) 土地利用状況の判定

周辺の土地利用状況を3段階で評価する

区分	評価項目	内容・基準
1	土地利用の状況	土地利用度が高い（中心市街地、または住宅密集率70%以上）
2		土地利用度が中（市街化区域、または住宅密集率50%以上～70%未満）
3		土地利用度が低い（調整区域、または住宅密集率50%未満）

・ 側溝改良

(1) 維持修繕の必要性の判定

側溝の破損状況を3段階で評価する

区分	評価項目	内容・基準
1	破壊状態で危険	構造物破損、側溝未整備
2	機能障害がある	勾配不足、受益面積に対して断面不足
3	利用に不便がある	側溝蓋・蓋掛無し

評価区分の内容・基準例

区分1 (構造物破損、側溝未整備)



区分2 (勾配不足、受益面積に対して断面不足)



区分3 (側溝蓋・蓋掛無し)



(2) 道路の利用状況の判定

道路の利用状況を3段階で評価する

区分	評価項目	内容・基準
1	歩行者等の多い道路	通学路等で歩行者・通勤通学者が多い
2	準幹線道路	地区間連結道路
3	生活道路	地区内道路（通過車両が少ない）

(3) 特別な要因の判定

特別な要因を2段階で評価する

区分	評価項目	内容・基準
1	その他要因	沿道が人家連担地区で、大雨の際に雨水が民地に流入してくる
2		沿道が人家連担地区で狭隘区間

(4) 土地利用状況の判定

周辺の土地利用状況を3段階で評価する

区分	評価項目	内容・基準
1	土地利用の状況	土地利用度が高い（中心市街地、または住宅密集率70%以上）
2		土地利用度が中（市街化区域、または住宅密集率50%以上～70%未満）
3		土地利用度が低い（調整区域、または住宅密集率50%未満）